

うつのみや 社協だより

平成29年4月20日発行

編集発行 **164号**

社会福祉法人
 宇都宮市社会福祉協議会
 宇都宮市中央1丁目1番15号
 宇都宮市総合福祉センター内
 電話 028-636-1215(代)
 FAX 028-638-9856

<http://www.utsunomiya-syakyo.or.jp>

宇都宮市社会福祉協議会 検索

ともに支えあい助けあう“向こう三軒両隣”の地域社会の実現を目指して

平成29年度 社協会員加入のお願い

社協会費が地域の福祉活動を支えています

ともに支えあい助けあう地域づくりのために…



〈ふれあいいいきサロン〉

ボランティア活動推進のために…



〈傾聴ボランティア養成講座〉

福祉の心を育むために…



〈出前福祉共育講座〉

安心して暮らせる
 地域づくりのために…



〈安心・安全情報キット配付事業〉

宇都宮市社会福祉協議会（社協）は、地域における様々な生活・福祉問題の解決をはかるため、市民の皆さまの参加・協力を得て、関係機関・団体等と連携し、地域福祉活動や在宅福祉活動を推進・支援する民間の団体です。

皆さまからご協力いただいた会費は、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができる「向こう三軒両隣」の地域社会の実現に向け、市民の皆さまとともに進める福祉活動に活用させていただきます。

活動の目的・趣旨にご賛同いただき、社協会員にご加入くださいますよう、心よりお願い申し上げます。 ※会員の加入は任意であり、強制ではありませんが、なにとぞご理解とご協力をお願い申し上げます。

会員の種類と 会費

普通会員(各世帯)	300円以上
特別会員(個人)	1,000円以上
団体会員(社会福祉施設・団体・機関)	5,000円以上
賛助会員(企業・事業所・個人)	10,000円以上

“うつのみや社協だより”は、**回覧**です。よろしくお願い申し上げます。

平成29年度宇都宮市社会福祉協議会

事業計画・予算



3月14日開催の理事会、3月24日開催の評議員会において、平成29年度の実業計画及び収支予算が承認されました。

本会では、「第3次宇都宮市地域福祉活動計画」に基づき、ともに支えあい、助けあいながら、安心して暮らし続けることができる「向こう三軒両隣」の地域社会の実現を目指し、地域福祉推進の中核的組織として、地域の様々な生活・福祉課題に向き合い、行政や関係機関・団体等と協力しながら、課題の解決と更なる地域福祉の発展に尽力していきます。

事業計画

1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり

(1) 福祉のこころの醸成と交流活動の促進

- ①赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の推進
- ②やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実
- ③宇都宮市民福祉の祭典支援の充実

(2) 福祉に関する人材の育成と共育の推進

- ①ボランティア養成の充実
 - (ア) ボランティア体験プログラムの実施
 - (イ) ボランティア入門講座の開催(ぼらんていあSaturday)
 - (ウ) 学生ボランティアの養成
- サマーボランティアスクールの開催

- (エ) 災害福祉救援ボランティア養成講座の開催
- (オ) 傾聴ボランティア養成講座の開催
- (カ) ボランティア登録者の活動の支援
- (キ) 福祉共育サポーター養成講座の開催
- ②出前福祉共育講座の充実
 - (ア) 出前福祉共育講座連絡会の開催
 - (イ) 福祉共育・ボランティア推進フォーラムの開催

2. 安心して暮らせる仕組みづくり

(1) 社会参画の促進

- ①老人クラブ支援の充実
- ②老人福祉センター機能の充実【指定管理事業】
- ③障がい福祉施設機能の充実【指定管理事業】
- ④地区福祉まつり支援の充実
- ⑤男性高齢者調理講習会事業の充実

(2) 情報提供体制の充実

- ①総合相談センター事業の充実
- ②地域福祉に関する広報・周知・啓発等情報発信の充実

(3) さまざまなニーズに応じたサービスの提供

- ①日常生活自立支援事業「あすてらす」事業の実施
【県社協受託事業】
- ②法人後見事業の実施
- ③介護保険事業等の充実
(ア) 居宅介護支援事業所の運営(介護保険サービス)

- (イ) 訪問介護事業所の運営(介護保険サービス)
- (ウ) 居宅介護事業所の運営(障がい福祉サービス)
- (エ) 通所介護事業所の運営(介護保険サービス)
- (オ) 生活介護事業所の運営(障がい福祉サービス)
- ④地域包括支援センター事業の充実【市受託事業】
- ⑤障がい福祉サービス等利用計画の作成
- ⑥福祉車両貸出サービス事業の推進
- ⑦車いす等福祉機器貸出事業の推進
- ⑧福祉理美容サービス事業の推進
- ⑨ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進
- ⑩福祉機器・介護用品展示室の開設
- ⑪生活福祉資金等貸付事業
臨時特例つなぎ資金事業の実施【県社協受託事業】
- ⑫社会福祉資金貸付事業の管理
- ⑬生活困窮者自立相談支援事業の推進【市受託事業】

3. 地域で支えあうまちづくり

(1) 共に支えあう地域づくり

- ①コミュニティワークの推進
- ②地区社会福祉協議会支援の充実
- ③ふれあいいいきサロン事業の推進
- ④安心・安全情報キット配付事業の推進
- ⑤ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の充実
- ⑥自治会・民生委員児童委員協議会・まちづくり推進協議会・地域包括支援センター等関係機関・団体との連携・協働の推進
- ⑦福祉団体・福祉施設との連携・協働の推進
- ⑧まちづくりセンター等市民活動機関との連携・協働の推進
- ⑨ボランティアセンター機能の充実
 - (ア) ボランティアの相談・登録・調整
 - (イ) ボランティア団体への活動支援の推進
 - (ウ) ボランティア活動用機材貸出事業の推進
 - (エ) 中間支援組織との連携強化
 - (オ) ボランティア研修会の開催

- ⑩災害ボランティアセンター機能の充実
 - (ア) 災害ボランティアセンター運営訓練の実施
 - (イ) 災害情報の収集・発信
 - (ウ) 災害福祉救援ボランティアフォローアップ研修の開催
- ⑪ファミリーケアサービス事業の充実

(2) 市民の主体的な地域活動への支援

- ①第4次地域福祉活動計画の策定(※新規)
- ②福祉のまちづくり計画(小地域福祉活動計画)の策定
- ③福祉協力員制度の推進
- ④社会福祉協議会会員制度の充実
- ⑤ぎんなん基金事業の充実
- ⑥善意銀行事業の促進
 - (ア) 金銭・物品の預託・払い出し
 - (イ) 収集物品の預託
 - (ウ) 火災見舞金の交付
- ⑦宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の推進【市受託事業】
- ⑧敬老会事業の充実

4. 指定管理施設等の管理・経営

(1) 指定管理施設の管理・経営

- ①老人福祉センター(5施設)
ことばき会館・ふれあい荘・やすらぎ荘・すこやか荘
上河内
- ②地域活動支援センター(3施設)
雀の宮作業所・若草作業所・障がい者福祉センター
- ③総合福祉センター(2施設)
宇都宮市総合福祉センター・河内総合福祉センター

(2) 市からの受託事業の実施

- ①障がい者生活支援センター事業
- ②地域包括支援センター事業(2箇所)
地域包括支援センター御本丸・上河内地域包括支援センター
- ③日中一時支援事業(3箇所)
あっとほーむすずめうだいかわち
- ④障がい者福祉バス事業
- ⑤奉仕員養成講座(手話・点訳・音訳)
- ⑥要約筆記者派遣事業
- ⑦移動支援事業
- ⑧生活困窮者自立相談支援事業
- ⑨宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業

収支予算

(1) 社会福祉事業

①法人運営	253,081 千円
②福祉活動推進事業	42,307 千円
③ボランティアセンター事業	39,272 千円
④総合相談センター事業	4,103 千円
⑤権利擁護・成年後見センター事業	10,034 千円
⑥ぎんなん基金事業	16,165 千円
⑦善意銀行事業	2,315 千円
⑧共同募金配分金事業	37,690 千円
⑨生活福祉資金貸付事業	8,338 千円
⑩社会福祉資金貸付事業	2,990 千円
⑪老人福祉センター	215,626 千円
⑫地域活動支援センター	47,623 千円
⑬障がい者福祉センター	36,557 千円
⑭宇都宮市総合福祉センター	76,985 千円
⑮河内総合福祉センター	56,041 千円
⑯訪問介護事業	39,568 千円

⑰通所介護事業	22,650 千円
⑱居宅介護支援事業	21,600 千円

計 **932,945 千円**

(2) 公益事業

①地域包括支援センター御本丸	31,855 千円
②上河内地域包括支援センター	30,051 千円
③障がい者福祉バス事業	8,502 千円
④障がい者生活支援事業	17,906 千円
⑤日中一時支援事業	24,626 千円
⑥生活困窮者自立相談支援事業	25,144 千円
⑦ファミリーケアサービス事業	8,335 千円

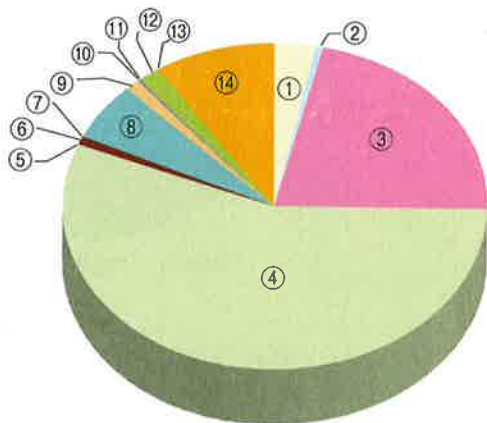
計 **146,419 千円**

総合計 1,079,364 千円

収入

1,079,364 千円

(単位:千円)



収入合計

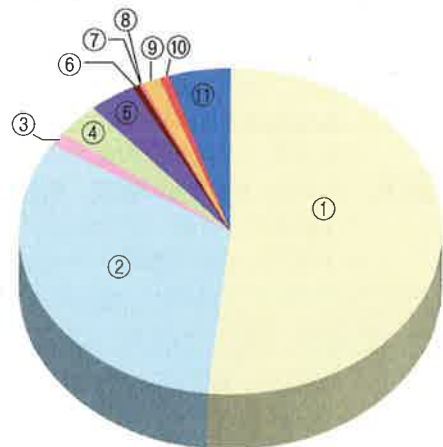
収入

①会費収入	35,810 千円	⑥介護保険事業収入	62,604 千円
②寄附金収入	3,851 千円	⑨障害福祉サービス等事業収入	10,989 千円
③経常経費補助金収入	234,626 千円	⑩受取利息配当金収入	2,162 千円
④受託金収入	600,956 千円	⑪その他の収入	282 千円
⑤貸付事業収入	70 千円	⑫基金積立資産取崩収入	19,561 千円
⑥事業収入	11,024 千円	⑬積立資産取崩収入	1,165 千円
⑦負担金収入	50 千円	⑭繰越金	96,214 千円
収入合計	1,079,364 千円		

支出

1,079,364 千円

(単位:千円)



支出合計

支出

①人件費支出	558,830 千円	⑧固定資産取得支出	1,365 千円
②事業費支出	347,236 千円	⑨基金積立資産支出	15,754 千円
③事務費支出	15,168 千円	⑩積立資産支出	8,700 千円
④共同募金配分金事業費支出	38,050 千円	⑪予備費	48,777 千円
⑤助成金支出	39,043 千円		
⑥負担金支出	3,241 千円		
⑦返還金支出	3,200 千円		
支出合計	1,079,364 千円		

サロン

「サロンこぶくろ」(築瀬地区)

～サロンが地域とのつながりの入口に～



サロン情報

開催日時：毎月第2金曜日 午後1時～3時
 場所：アトリエkirari
 代表者：佐伯陽子さん(福祉協力員)
 立ち上げ動機：地域でみんなが気軽に集まれる場所
 がなかったの、まずはやってみよう！という気持ちから始めました。



実施内容

近所の広い場所でラジオ体操をしたのち、茶話会を中心にストレッチやペタンク、地域内の散策や手芸、クリスマスにはケーキ作りなどを行っています。次回の過ごし方は、その都度みんなで決めています。

「みんなが主役のみんなの居場所」

参加者のみなさんは豊かな人生経験をお持ちです。手作りのお菓子や漬物を持ち寄り、お茶を入れてくれたり、それぞれに小さな役割が自然とできてきました。



▲地域とのつながりの輪が広がりました

サロンのアピールポイント

家庭的な雰囲気の中、参加者自身でどのように過ごすかを考えて、自分たちがやりたいことをして過ごせるサロンです。「悪口や自慢話はしないで楽しい場所にしよう」という気持ちで、居心地の良さにつながっているのかもしれない。

参加者の皆さんは、サロンに参加し始めたことをきっかけに、声を掛け合ってふれあい会食会など地域の行事にもたくさん参加するようになりました。サロンがきっかけとなって、地域の活性化につながれば良いと思います。



▲毎回ラジオ体操で健康維持



▲みんなで持ちつ持たれつ

福祉協力員

西地区 きくち 菊地フジさん・きむら たいこ 木村泰子さん・あべ とみえ 阿部富江さん
 (四条町南部自治会) (二条町北部自治会) (材木町通り協和会自治会)



活動内容

活動年数：菊地フジさん/24年目
 木村泰子さん/7年目
 阿部富江さん/15年目
 活動内容：ふれあい会食会の運営、男性調理講習会の運営、
 ふれあい・いきいきサロンの運営、
 小学生との交流事業への参加協力、見守り声かけ活動 など



<阿部さん 菊地さん 木村さん>

先輩から代々受け継いできた「地域への愛」と「笑顔」

平成4年に西地区で福祉協力員活動が始まって以来、多くの先輩方からたくさんの事を教わり、それを後輩へも伝えながら活動を続けています。代々つながってきたこの歴史が、みんなにとっての西地区への愛となり、力になっている気がします。活動にあたっては、まずは自分たちが笑顔で楽しむことが大切だと思っています。ふれあい会食会で「おいしかった!」、男性調理講習会で「料理するのが楽しかった!」と言われると本当にうれしいです。



▲男性調理講習会では講師を務めます!

無理はしない・誰かが助けてくれる

長い間活動を続けてこられたのは、福祉協力員同士でお互いに助けあえる関係があったからです。都合が悪くて行事に出られない時も、誰かが必ず代わってくれるのはとても心強いです。単純に仲が良いので、気を使わないでおしゃべりできる仲間がいるということはいずれのことです。



▲笑顔を見せてくれるのが一番の喜び

紹介コーナー

「ふれあいサロン下川俣」(豊郷地区)

～3つの自治会が協働でつくった“憩いの場”～



サロン情報

開催日時：毎月第2・4火曜日 午後1時30分～3時30分
 場所：下川俣町公民館
 代表者：吉田美輪さん(28年度) 《下川俣町東自治会役員》
 立ち上げ動機：豊郷地区で自治会単位でのサロンの開設が進んでいますが、下川俣町は、元々1つの自治会が3つに分かれた経緯があるため、下川俣町・下川俣町中・下川俣町東の3自治会で協力して、ひとつのサロンを開設することになりました。



実施内容

ラジオ体操⇒合唱⇒
 その日のメニュー(前半1時間)
 お茶やお菓子を囲み楽しく
 おしゃべり(後半1時間)

民間企業の「薬剤師・管理栄養士による出前講座」

服薬や正しい薬の飲み方、また骨粗鬆症の予防を中心に、骨作りに必要な栄養素や健康増進のための栄養についてなど、わかりやすく楽しく講話いただき、参加者の皆さんの日々の暮らしに、大いに役立ちました。



▲「お楽しみ会」の様子

お楽しみ会を盛大に開催

年に2回、参加者とスタッフと一緒に「お楽しみ会」を開催しています。内容は「アトラクション」(写真は大正琴)と、手作りの料理をふるまう「お食事会」です。参加者、スタッフとも、楽しい時間を過ごし、お互いの絆を深めています。



「薬剤師・管理栄養士による出前講座」の様子▶

サロンのアピールポイント

下川俣町3自治会の協働により開設していることから、普段交流のない参加者、スタッフとも自治会の枠を超えて交流を深めています。プログラムは、輪投げ・折り紙・脳トレのほか、参加者の皆さんからの要望が多い“健康や日常生活につながる内容”の出前講座を取り入れるようにしています。

紹介コーナー

宝木地区 ^{あさの}浅野まささん・^{いぐち とみこ}猪口富子さん・^{ふなばし}船橋くに子さん (宝木2の2自治会)



活動年数：浅野まささん/15年目
 猪口富子さん/9年目
 船橋くに子さん/3年目
 活動内容：ふれあい・いきいきサロンの運営、近隣の方への見守りや声かけ、ふれあい会食会、敬老会への協力など



<船橋さん 猪口さん 浅野さん>

福祉協力員研修会をきっかけに「西岡サロン」立上げ

福祉協力員活動のきっかけは、自治会長さんからの依頼でした。正直、荷が重いかなと思いつつ引き受けましたが、地域の仲間や民生委員さんたちの支えもあって、今ではやりがいを持って活動しています。福祉協力員研修会でサロンについて知り、もともと婦人会などで活動していた仲間と共にサロンを立ち上げました。



▲おしゃべりの中から情報やアイデアが



▲牛乳パック再利用でアイス作り

サロン活動から見守り

会食会や敬老会など各種行事への協力やサロン運営が活動の中心になっています。サロンでのお茶飲み話から得られた情報が見守り活動に結びつくことも多く、サロン活動が地域の潤滑剤となっていることを実感しています。これからも、意見やアイデアを自由に出しあいながら、楽しく活動していきたいと思っております。

ボラセン
情報コーナー



ボランティアセンターで行っている事業を紹介します。

福祉共育サポーター養成講座

を開催しました♪



講義「福祉共育とは何か」



講義「福祉共育の現状と課題」



模擬授業 身体障がいの理解
(車いす介助体験)



模擬授業 視覚障がいの理解
(アイマスク・点字体験)



模擬授業 聴覚障がいの理解
(手話体験)

学校や企業等を対象に実施している「出前福祉共育講座」のアシスタントの育成を目的に、「福祉共育サポーター養成講座」を開催しました。

今回は、講義として「社協が実践する福祉共育について」「福祉共育とは何か」「福祉共育の現状と課題」、また学校等で行われている福祉共育の模擬授業として「身体障がいの理解(車いす介助体験)」「視覚障がいの理解(アイマスク・点字体験)」「聴覚障がいの理解(手話体験)」をプログラムに取り入れ、福祉共育について理解を深めるとともに、アシスタントをする際のポイントや注意点などについて、実際の授業を体験しながら学んでいただきました。

平成28年度 福祉共育・ボランティア推進フォーラム

オモイツタエル 3.11

～ともしびプロジェクト in うつのみや2017～



東日本大震災から丸6年が経ちましたが、昨年は熊本県・大分県・鳥取県などで大きな地震が発生するなど、全国各地で自然災害が頻発しています。このような災害の現状とそこから学んだ教訓を忘れずに伝え続け、キャンドルに希望の光を灯す「オモイツタエル3.11」を、大学生や高校生で組織された「ともしびプロジェクト in うつのみや2017実行委員会」や支援団体とともに、今年も開催しました。



オモイをこめてキャンドルに点灯



多くの人々のオモイがカタチになった
キャンドルアート



実行委員メンバーの学生たち



※「ともしびプロジェクト」・・・「忘れられることが一番怖い・・・」という被災者の方が発した言葉から生まれた被災地への想い「忘れないをカタチに」する、キャンドルアートプロジェクト。



ボランティア養成講座

平成29年度に開催予定のボランティアセンター主催の各種ボランティア養成講座をご案内します。講座の詳細やお申し込み方法などは、随時「ボランティアセンターホームページ」「広報うつのみや」などでお知らせしていきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

テーマで学んでみたい!

	講座名	内容	開催予定
1	災害福祉救援 ボランティア養成講座	近年、自然災害等が全国各地で発生しており、今や災害はいつ私たちの身に降りかかるか分からない状況と言えます。日頃からできる減災対策や、災害ボランティアについて学ぶ講座です。	6月～7月頃
2	サマーボランティア スクール	高校生や大学生を対象とした、夏のボランティア体験講座です。たくさんの仲間と出会い、喜びや感動を分かちあう夏の思い出づくりに参加してみませんか?	7月～8月頃
3	傾聴ボランティア 養成講座	傾聴とは、相手の話を否定せずに受容し、心を傾けて聴くことです。傾聴の基本や技術などを、講義やロールプレイをとおして学ぶ講座です。	9月頃
4	福祉共育サポーター 養成講座	ボランティアセンターで実施している福祉共育推進のための出前福祉共育講座を、サポートしていただけるボランティアを養成する講座です。	平成30年 1～2月頃

体験したい! 知りたい! (ボランティア活動の体験プログラム)

	講座名	内容	開催予定
1	ぼらんていあ Saturday ～聴覚障がいの理解～	「聞こえないってどんなこと?」 「手話を学ぼう」	7～8月頃
2	ぼらんていあ Saturday ～視覚障がいの理解～	「視覚障がいについて学ぼう」 「点字・アイマスクを体験してみよう」	
3	ぼらんていあ Saturday ～発達障がいの理解～	「発達障がいってなんだろう?」 デモンストレーション、不自由体験 他	
4	ぼらんていあ Saturday ～精神障がいの理解～	「精神障がいってなんだろう?」 「精神保健ボランティアについて」	9月頃



第11回

ボランティアセンター登録団体紹介コーナー

ボランティアセンターでは、様々な分野で活躍しているボランティア団体が登録しています。今回は、「傾聴ボランティア」を行っている団体をご紹介します。(第3弾)

- ① 傾聴ボランティア 笑みの輪
② SDOサポート27
③ 傾聴ボランティア きずな
④ 傾聴こだまの会
⑤ 生協ふたば診療所ボランティアの会
⑥ 傾聴ボランティアグループ たんぼぼ
⑦ 傾聴ボランティアグループ ふくみみ
⑧ 傾聴ボランティア「みみずく」
⑨ 傾聴ボランティア わらく
⑩ 傾聴ボランティア「ささやき」

「傾聴ボランティア」って、なに?

相手の話を否定せずに受容し、心を傾けて聴くことで、相手の心を癒し、孤独や不安を軽減させる手助けをするボランティアです。

- ⑪ 野の花の会
⑫ 精神保健ボランティア
かたくりの会



※掲載は登録順です。

【お問い合わせ】 ボランティアセンター（総合福祉センター8階） 電話 636-1285 FAX 634-2870
ホームページもご覧ください。「宇都宮市社協ボラセン」で検索

あなたの地域でも活動中!

「福祉協力員」

～ともに支えあい助けあう“向こう三軒両隣”の地域社会を目指して～

福祉協力員は、誰もが住み慣れた地域や家庭で安心して暮らし続けることができるよう、また、自立した心豊かな生活が送れるように、地域での「見守りや声かけ」など「住民相互の支えあい助けあい活動」を行う、福祉のボランティアです。

この福祉協力員制度は平成4年度からスタートし、現在は市内全39地区社会福祉協議会に設置されており、2,420名(平成29年3月末現在)の福祉協力員が地域で活動しています。



資質向上のための研修



ふれあい・いきいきサロン



安心・安全情報キットの配付

福祉協力員の活動例
～身近な場面で活躍しています～



地区敬老会



ふれあい会食会



地区福祉まつり

「うつのみや社協だより」では、毎号各地区で活躍している福祉協力員の方々をご紹介します。(P4.P5)

ぎんなん基金

ご協力ありがとうございました。
皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。
ぎんなん基金は地域福祉事業に活用させていただきます。

平成28年12月下旬～平成29年3月31日

寄附順・敬称略

寄附者(団体)		金額(円)	寄附者(団体)		金額(円)
12月	栃木美術倶楽部	5,000	2月	松が峰教会 喫茶ぶどうの木	10,000
	宇都宮民謡民舞連合会	50,000		栃木県卓月会	30,000
	宇都宮海星女子学院中学校・高等学校	30,000		栃木美術倶楽部	10,000
	宇都宮市総合福祉センターお客様一同	2,595		だいまるストアー双葉店	15,072
1月	ステップ希望 会長 石川 孝子	13,000	3月	なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵	20,813
	なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵	17,849		第10回宇都宮市民福祉の祭典実行委員会	229,028
	宇都宮友の会	30,000		ことぶき会館利用者一同	10,772
	(有) 鈴木燃料店	3,150		栃木県レーザーカラオケ協会	31,131
	高齢者等地域活動支援ポイント事業879名	278,800		ユニー(株)アピタ宇都宮店	18,118
2月	ビッグサンユウ駒生店	21,291	なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵	20,043	
	御幸ヶ原地区社会福祉協議会福祉蕎麦まつり	18,900	高橋孝尚歌謡教室	非掲載希望	
	済生会宇都宮病院看護専門学校	7,266	黄ぶな愉快プロジェクト	10,000	
(株) 栃木銀行 宇都宮駅前支店	24,701				

【お詫びと訂正】

社協だより2月1日発行(163号)のぎんなん基金寄附者(団体)において、「雀宮地域婦人会西田支部」様の記載に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げ、訂正させていただきます。

誤：雀宮地域婦人会西川田支部 正：雀宮地域婦人会西田支部

平成28年度の寄附総額

累計 3,621,100円

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)